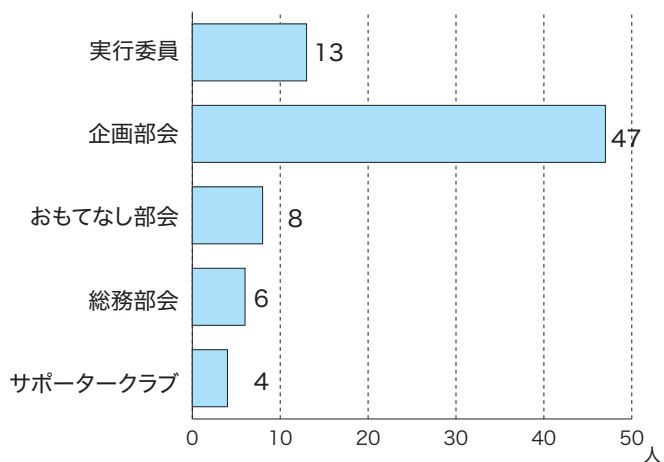


# ●関係者アンケート ※対象：実行委員、各部会員（総務・企画・おもてなし）、サポーター

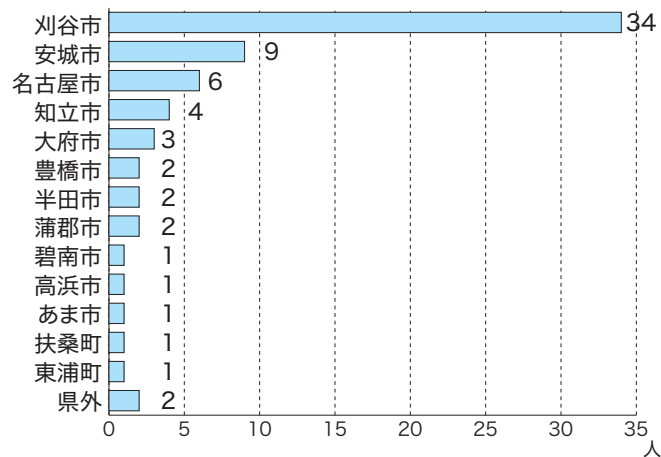
[回答数：69件]

## 回答者属性

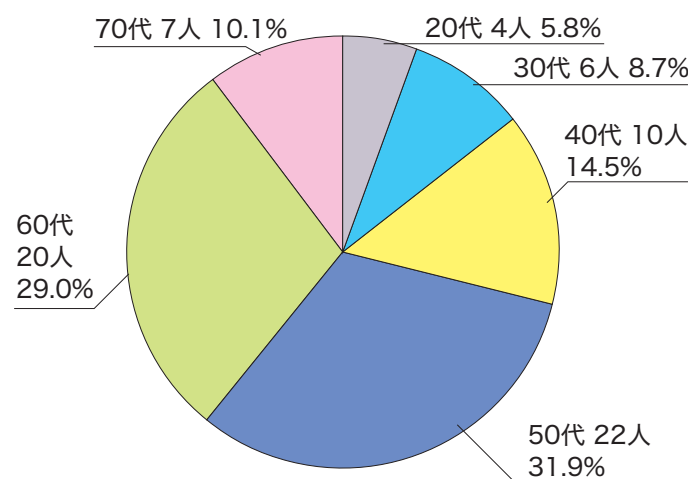
### 【所属（複数選択可）】



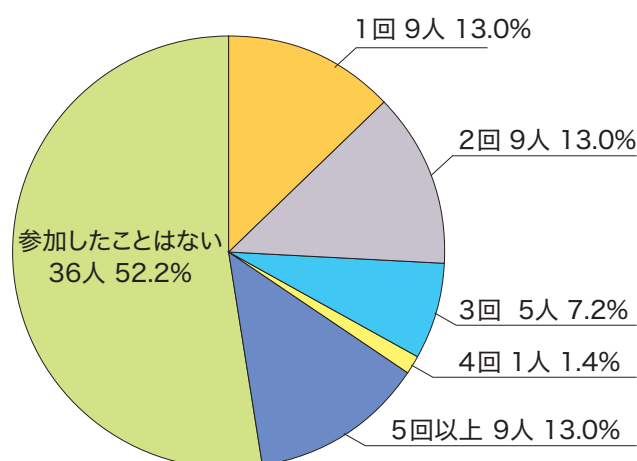
### 【在住市町村】



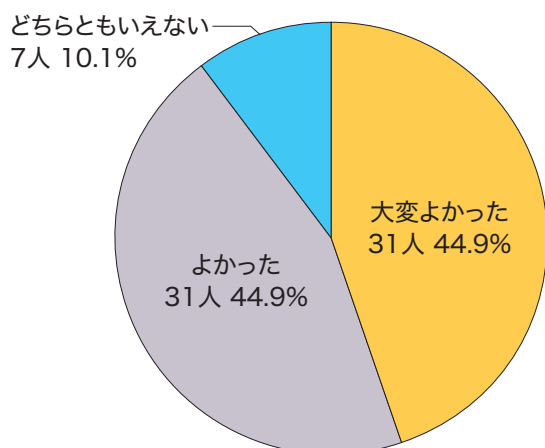
### 【年代】



### 【これまでの日本女性会議への参加回数】



### Q. 今回、ミライク会議へ関わっていかがでしたか。



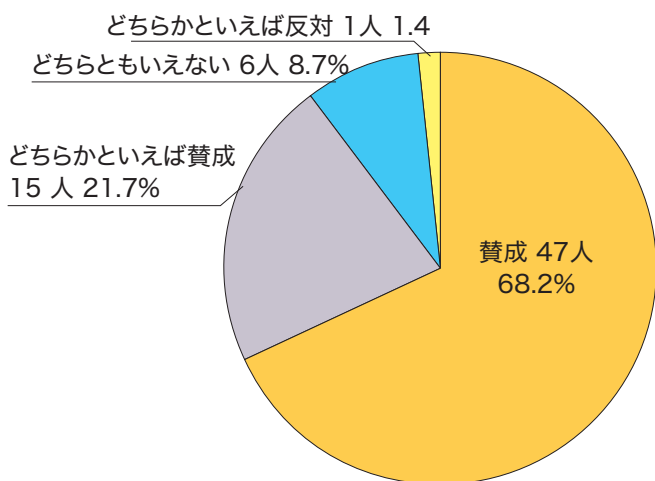
### Q. その選択理由を教えてください。（自由回答）

- ◆参加だけではなく多少でも参画できたこと。様々な方との繋がりができたこと。
- ◆市民、ボランティア、大学、行政など、多様な皆様の考え方を知り、皆で作上げる経験ができました。
- ◆イベント含めて、イベント企画や運営を通じ、会社の仕事とは全く違うチャレンジを長期間させていただいたのが非常に有意義だったから。新しい出会いも多く、前向きでアクティブなメンバーと刺激的で楽しい日々を過ごせました。また、自分が次世代に向けて本業以外でどんなことをしていきたいか考えるきっかけになりました。
- ◆おもてなし部会なので、関わったと言えるのかどうか分かりませんが、パンフ発送等で、多少なりともお手伝いできたのかなと思います。

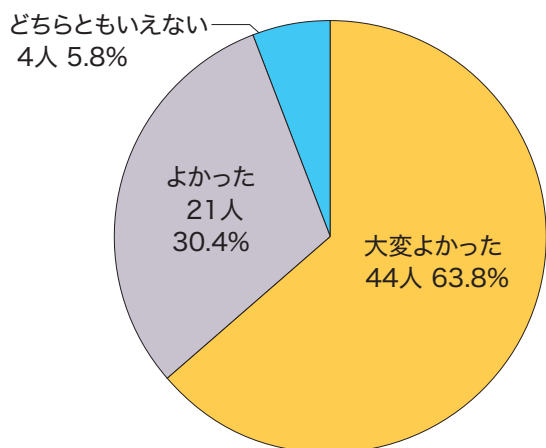
- ◆男女共同参画の視点からの地域おこし、エリアPRの流れを勉強することができました。また、それぞれの地域ならではの取り組みについても、地域性の違いを伺うことができ、大変よかったです。
- ◆様々な活動をされている方々にご縁をいただいたり、勉強になるお話が聞けたり、有意義な時間を過ごせました。
- ◆数えきれないほど日本女性会議に参加してきたが、企画側にもWEB方式も初めての経験を味わうことができた。感謝しています。
- ◆自分の関わっている仕事に深みを感じたし、リモートでzoomという新しいツールを経験できた。分科会メンバーとのチームワークの良さでこの難題を乗り越えた達成感があった。何より日本女性会議に関われた事(もっと役に立ちたかった)が嬉しかった。
- ◆社会課題や肌で感じることができ今後の活動の参考になった。
- ◆歴史的な、大会初のオンライン開催に関わることができたため。
- ◆あまり時間が取れなくて、深く関われなかったのが少し残念だった。

- ◆現代の社会に何が必要なのかを知り考えることができました。
- ◆男女共同参画に関わってきて、日本女性会議の企画に携われることは光栄で、貴重な体験だった。
- ◆最初の企画がコロナにより変更になったため、最初の計画通りにならないことが残念でした。
- ◆コロナ禍で社会活動の全てが止まってしまった様なイメージでしたが、その環境下でもやれる事が有ということが実感できたから。
- ◆残念なことは、コロナ禍、開催が危ぶまれ、おもてなし部会の一員として、その関わり方の方向性が十分理解できず、途中参加への意欲を逸してしまったこと。良かったことは、事務局の皆様の熱意により、最後まで何らかの形で関わられるよう仕向けて頂き、達成感が持てたこと。
- ◆分科会で取り上げたテーマについて、これまで知らずにいた様々な側面を知ることができ、勉強になりました。

### Q. ミライク会議実施以前、コロナ禍の中、オンライン開催を検討／決定したことについて、どのように思っていましたか。



### Q. ミライク会議が実施された今、オンラインで開催したことをどのように思っていますか。



### Q. その選択理由を教えてください。(自由回答)

- ◆女性会議を途絶えさせるのは、良くないと思っていましたが、有料によるオンライン会議では参加人数が少ないのではと思っていました。
- ◆コロナ禍であっても、実施可能の証明になったと思う。さらにオ

- ンライン開催が参画希望者のZOOMの浸透につながったと思っています。
- ◆おもてなし部会としては、直接お客様をお迎えしふれあい場を持ちおもてなしをしたかったです。そして郷土の祭「万燈祭」を皆さまにご覧いただきPRしたかったです。しかし、この「コロナ禍」では仕方がなかったのかなと思います。
- ◆コロナ感染拡大防止策としてのオンライン開催でしたが、結果的に、場所・時間の制約があって今まで参加したくてもできなかった新しい層の人たちへ、参加の可能性を拡げることができたのが、大きな成果であると思います。(私自身も、オンタイムでの都合がつかず、アーカイブ配信で参加しました)上野さんがおっしゃっていたように、会場に座って米粒サイズの講演者を凝視する講演会より、講師の表情までしっかり見ることができる映像配信でしたので、講演内容がよりリアルに伝わってきたと感じました。
- ◆2018年の金沢大会後は、2020年のあいち刈谷大会の開催は漠然としすぎていて、全く実感がなく、本当に出来るのかと不安や恐れさえ感じていました。しかし、2019年の栃木県佐野市の開催が災害で中止となり、刈谷のPR、周知が出来ない状態で、2020年果たしてどれだけの人に参加して貰えるかと心配でした。2020年コロナが拡大し、中止ではなく初のオンライン会議を選択し開催した勇気？決断に感動しました。日本女性会議を中断させてはいけない！どんな形でも継続は大事と思っていたのでオンラインでの実施に賛成、開催出来て本当に良かったと思っています。
- ◆オンラインでなければ開催できなかったため。
- ◆オンラインはこれから先に標準になりそうです。先駆けてやっておくことには意味があったと思います。
- ◆オンライン開催はやむなしと思いますが、広報ができていないと感じました。
- ◆オンライン開催は新しい時代に入ったことを実感した。
- ◆グループワークを予定していたので、不安もあった。対面の方がお互いがより刺激をうけ、話が深まったのだらうとは思いますが、今ある中で可能な形態で実現できたのではないかと思います。欲をいえば、元の予定どおりの時間(2時間)で実施できるとより良かったように思います。
- ◆コロナ禍で他の各行事が中止になり、メンバーや刈谷市民の反対意見を聞いて開催の判断は迷いました。オンライン開催が決定した時は、このメリットを活かす会議ができればと思いました。メンバーも同じ方向に進めるように説明をして共感してもらえたと感じています。

- ◆コロナ禍の中、中止の選択肢もありましたが、昨年の佐野大会が台風で出来なかったので2年連続中止は避けたいと考えました。現状から人が全国から集まる事は不可能と思われオンラインだからこそ実施できました。オンラインなので参加できた方たちもいらっしやるはずです。
- ◆ベストな選択だったと思います。事務局は準備が大変だったでしょうが、大きな会議の、新しい開催の仕方を体得できたという意味でも有意義でしたし、今後は、開催様式の選択肢のひとつになると思います。もちろん、オンライン開催ではなく、リアル開催ができれば、その方が良いかもしれませんが、今回のことのようなことがないと「オンライン開催」は無かったと考えます。また、オンライン開催による可能性、メリットも体験できました。またアーカイブ視聴もできたので再確認もできましたし、見落とした分科会も視聴できました。
- ◆リアル開催だったら、移動時間を考えて参加しなかったかもしれない分科会に参加することができたから。オンラインだとアーカイブ配信ができるので、自分の分科会と同時間にやっていた別分科会の内容も確認することができたから。
- ◆一部、ハイブリッド開催の部分を検討してもよかったかも。ただ

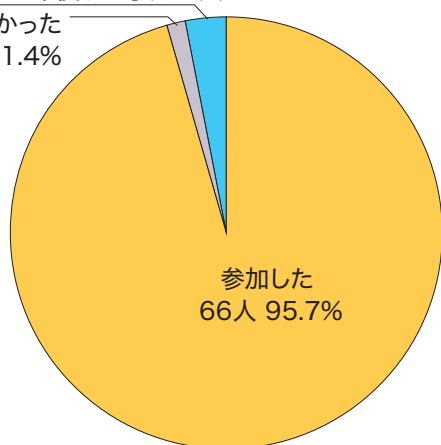
予算の関係上難しいと思います。

- ◆急遽オンラインに変更することは実行する側は大変な苦労があったと推察。コロナ情勢の中自粛が巻き起こる中で、昨年の佐野市に続き、刈谷も中止かと思っただけ、オンラインでと聞いた時は、参加者が激減するのではと思いつつ、困難に打ち勝つ姿勢を示すこともでき、とても良いと思った。年寄りたちは、zoomの学習を始めその日に備えた。申し込みにも悪戦苦闘したと聞いた。何事も学習と年寄りたちが元気です。
- ◆決定当時は縮小型もありかと思っていましたが、コロナ感染が増える中では、オンラインが適した型式であることや1回のみ視聴ではない利点があること。
- ◆初めてのことで心配はあったが、結果的に多方面の状況を鑑みて大正解だったと今、感じます。
- ◆女性を始めとした複合的な困難を抱えやすい人々に対し、パンデミックに負けず取り組む姿勢を示せたこと。
- ◆想定していたよりも多くの人に参加してくれたと推測されるから。
- ◆年齢的にも同じスケジュールをこなす事に自信が無かったので、自分のペースで分科会も複数受講出来たのがよかった。

### Q. ミライク会議に参加しましたか。(準備に関わっただけでなく全体会や分科会等に参加したかどうか。アーカイブ視聴も含む。)

まだ視聴できていないが今後する予定 2人 2.9%

参加しなかった  
1人 1.4%

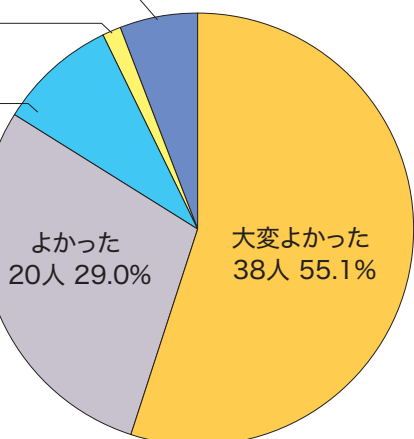


### Q. 「参加した」を選択した人にお聞きします。参加していかがでしたか。

無回答 4人 5.8%

あまりよくなかった  
1人 1.4%

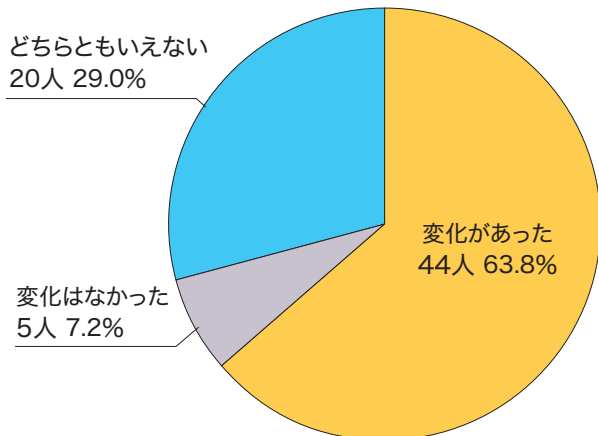
どちらともいえない  
6人 8.7%



### Q. その選択理由を教えてください。(自由回答)

- ◆分科会に差はあったものの、オンライン会議なりに双方向のコミュニケーションをとるよう工夫されていました。
- ◆これまでの各地へ出向いての会議と違い、初のオンライン開催で、冊子を見ても基調講演や分科会など全てに於ても、私は満足な物であったと思います。後日アーカイブ配信による視聴もあり、視聴出来なかった会の見直しも出来た事も満足でした。オンラインならではの不備も各地でもあったと思いますが、Wi-Fi環境整備などIT化の立ち遅れなど課題が顕著化し、早急な整備や対応が必要である事が見える化しただけでも有意義な「あいち刈谷大会」だったと言えるのではないかと思います。各地での開催の楽しみはエクスカッションもその1つ。その地の文化や食べ物、観光も楽しみで参加するのですが、残念ながら今回は映像での紹介のみと物販(通販)だけでちょっと残念でした。
- ◆ジェンダーに関して様々な意見が聞けたため。
- ◆初参加でしたが、分科会で全国の多くの方と意見交換し、一緒に学ばせていただいたことが最も心に残りよかったため。
- ◆オンラインの参加では、3日間画面での参加をしてみて、一日中、座っての視聴でちょっと、疲れしました。通常参加に比べて、集中、来ませんでした。
- ◆今まで関心がなかった事も身近に感じる事ができた。
- ◆参加して初めて女性会議の全容が見えました。気負わず、風を切って前を向いて歩いてこられた女性が、しかも大勢おられる事例を知り得てとても有意義でした。
- ◆新しい生き方・色々な考えかた等を真剣に考える機会となった。
- ◆同時間内の他の分科会の内容をアーカイブで閲覧できたことは画期的でした。
- ◆計画不足の点からは大変とは言いにくい良かったと思います
- ◆講演の内容がとてもよかった。周りの声も評価が高い。
- ◆初の形式だったので、報告事項など手薄になったところがあった。来年度の女性会議のパンフレットも紙ベースでもらえたら良かった。
- ◆日頃あまり考えなかったり、身近でなかったりした項目(分科会)もあり、多角的に物事を見る機会を持てたこと。

**Q. ミライク会議に関わって、もしくは参加して、あなた自身に変化はありましたか。**



**Q. その選択理由を教えてください。(自由回答)**

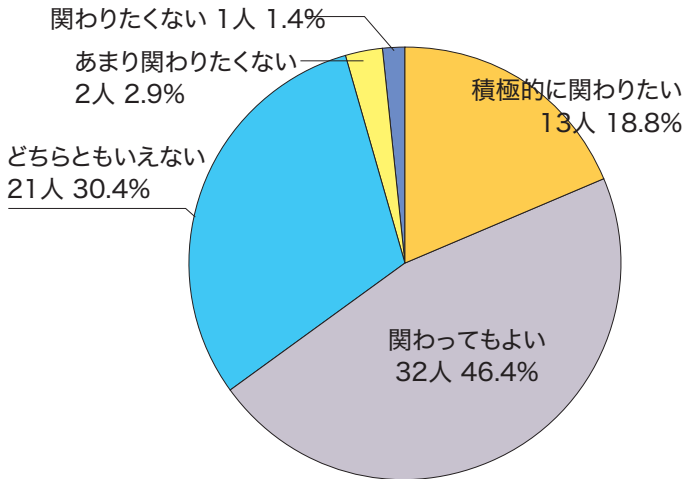
- ◆実力あるメンバーから、活動への刺激と暖かさをもらいました。今後それを活かしていきたいと思います。またZOOMに積極的に取り組めたと思います。
- ◆何事も“やれない”じゃなくて“やらない”だけ、縦の繋がりだけでなく、横の繋がり、斜めの繋がり、性別や年齢、国籍、老若にかかわらず、いろんな人と繋がっていかないとこれからの時代(社会)は「わたし」として生きていけない。閉じこもりや置いてけぼりになってしまうと特に今回は感じました。
- ◆イベントやエキシビションの企画運営を通じて、自分がなんとなく抱えているジェンダーギャップについてのもやもやは、我々世代に共通するものが多いこと、より若者世代も同じ(もしくはもっとシビアな)課題を抱えている人が多いことを知りました。そして、そのギャップを次世代に持ち越さないように、自分にできることはなにかを考え一歩ずつ実行していこうと強く・具体的に思うようになりました。
- ◆ジェンダーや女性論は苦手だったのですが、実際にやっている方と交流したり、話合ったりすることで、これも大事だと気づくことができました。
- ◆もっと自分も成長したいと思った。
- ◆それぞれの場で、多くの方々がぶつかりながらもより良い方策を模索し、現在の立場に立っていらっしゃる。頼もしく思いました。上野先生のお話から『交渉力』サイボウズ中根さんのお話から『情報共有』特にこの2点は、自分の今後の指針にしています。
- ◆男女共同参画、ジェンダー等分科会の各テーマに触れることにより、自身の価値観、考え方が変化しました。とても良い経験になりました。
- ◆自分も地域で何かできるのではないかと考えるきっかけとなったから。
- ◆問題提起はできたが実践するにはコロナが強敵すぎます。
- ◆とても抽象的に考えていた子育てを、これからしていくんだという期待感と不安感が同時に湧いてきましたが、楽しみになりました。
- ◆問題意識はあっても解決するための一歩を踏み出す行動力にかけていると常に思っている。自分の経験してきたことを活かして、地域のために活動していきたいと考えている。

- ◆様々な物事を改めてジェンダー視点で考えるようになりました。
- ◆男女共同参画の取り上げるテーマは多岐に渡っていて捉え所が無いと思っていたが、この様な会議を行う事によって、それぞれがどんな関わり方をして、それぞれがどんなバランスで進んで行く事が大事かが見えてきたから。

**Q. 大会実行委員会は今年度末で解散となりますが、ミライク会議の開催に至るまでに培ったネットワークや学びは、今後も引き継いでいきたいと考えています。どのような形が相応しいか、アイデアなどがありましたら自由にお書きください。**

- ◆アフターイベントをやってみてはいかがでしょうか。
- ◆あなたとわたしのハーモニーのプログラム拡大(希望する分科会は毎年イベントを立てる等)
- ◆オンライン飲み会や緩い意見交換会の定期的な実施。過去/今後の女性会議開催チームとの交流会(特に今後しばらくはオンライン要素を含む大会が開催されると思うので、ノウハウの共有含めて意見交換したい。個人的には今回のような若者にフォーカスした企画が開催されるのであればぜひ会話してみたいです。)
- ◆公式HPのアーカイブ化、noteやブログによる大会報告書の作成(日本女性会議で検索しても、会議でなにか話されたのか過去大会の履歴や写真がほとんど出てこなかったことに衝撃を受けました。刈谷大会は、今後誰かが検索したときに各分科会でどんな話題が出たのか引っかけられるような形でアーカイブしてもらえるとありがたいです。自分が関わった足跡を残してほしい気持ちもあります。)
- ◆分野を超えた学びの機会を定期的に作っていけると、ネットワークや学びを引き継いでいけるのではないかと思います。
- ◆年1回以上、集まる機会があると、うれしいです。
- ◆部会の垣根なく、有志で継続をお願いします。参加したいです。
- ◆実際に活動している方の話を聞き、西三河でも展開できるか検討する勉強会を開くと良いと思う。
- ◆今回の大会ほど大きくなくて良いので、ちいさなオンライン・イベントや交流会ができると良いですね。
- ◆同窓会的なFBグループを作って繋がる。定期的なズームでのディスカッションの会、ランチ時間を使った会を作る。
- ◆対面でディスカッションの重要性も改めて感じました。遠隔による学びと対面の併用が理想的です。
- ◆たまには集い、自分の変化や地域や市の変化、問題や課題について自由に意見交換できる場が持てないかと考えます。この繋がりが思いを実現するために必要と考えます。(和やかな雰囲気での開催がいいなあ)

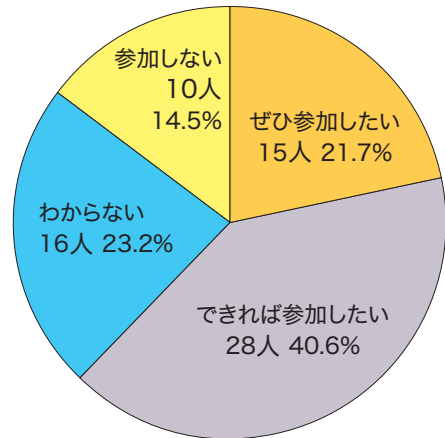
**Q. 今後の『アフターミライク』に関する事業等に、あなたご自身はどのような関わりを希望しますか。**



**Q. その選択理由を教えてください。(自由回答)**

- ◆個人ではなく所属する「女性団体」として関わられたらと思う。
- ◆年齢的に体調もあるため、積極的にとはいえない。案内があり興味や体調良ければ関わりたい。
- ◆ヒントは人との関りの中にあると思っているため。
- ◆今回楽しかったから。
- ◆今回培われた繋がりでもって、今後色々な企画をもつことで、社会への働きかけになるような関りがもてたら嬉しいと感じています。
- ◆刈谷のまちを良くしたいので。
- ◆未来の誰もが輝ける社会がテーマの日本女性会議なのだから、会議を成功させることは通過点であり起爆剤であって、今後の活動こそがさらに重要になってくるのであるから。
- ◆市外からの参加ですが、刈谷市の方ともつながってほしいなと思います。男女共同参画は多くの方々を合わせていかなければいけないのではないかなと思います。
- ◆高齢者の仲間入りで、時間が取れるので！
- ◆主体で動けるか、わからないが、関わりは持ちたいです。
- ◆男女共同参画に関しては、男性の理解も重要です。その点、今回の経験を活かせるのではないかと考えました。
- ◆引き続き行動していきたいからです！自分ひとりでは頑張れないので、皆さんと一緒に進めていきたいです。

**Q. 来年度は「日本女性会議2021in甲府」が山梨県甲府市で開催されます(2021年10月22日(金)~24日(日))。今時点での参加の予定を教えてください。**



**その他、ご意見などありましたらこちらをお願いします。**

- ◆今後、毎年オンライン開催となる場合、事前のプログラム作成・郵送などは廃止し、その分、多くの方が参加しやすい価格設定となるよう、配慮できるとよいと思います。
- ◆実行委員さんやスタッフ、関係者の皆様大変お世話になりました。そのお陰で充実した会議の場、出会いの場となり、様々な想いや希望を各人がもつことのできる会議になったと思っています。
- ◆今回の会議は、これからの私が活動するうえで、使える知識がたくさん詰まっていました。今回の会議の中で使われた言葉や考え方、発信すべきことなどを学び、自分自身の知識が向上したことで、情報の伝え方や共感性などもあがっていきたくと思っています。すべての人が、かけがえのない私でいられる社会を目指していきたいと思っています。
- ◆今回オンラインのみの参加でしたが、パソコンの画面では伝わりにくいこともあるので、やっぱり、対面で意見交換できる環境が早く戻ってくるといいですね。
- ◆日本女性会議in刈谷にかかわることができて良かったです。皆様お疲れさまでした。そしてありがとう。
- ◆開催して、いや開催出来て本当によかったと感じています。でも今からが実現に向けてのスタートと考えたいですね。行政、企業や地域、市民活動団体の持ち場立場でやるのがいっぱい。その先頭に立って行政は取り組んでほしいと思います。地域は課題がいっぱいです。手をつなぎ力を合わせて頑張りましょう。広いつながりもできました。この繋がりを大切にこれからも一緒にやりましょう。